



Japan. Cool Japan.

クールジャパン官民連携プラットフォーム 2022年度の活動方針について

令和4年7月14日

内閣府 知的財産戦略推進事務局

アフターコロナを見据えたクールジャパンの再起動（知財計画2022）

- 新型コロナの長期化を踏まえ、クールジャパン（CJ）関連分野の存続に必要な支援を着実に実施
- 本年6月10日から外国人観光客の入国制限を見直し。来るべきインバウンドの全面再開を視野にCJの再起動が急務。
- 2025年大阪・関西万博は、CJにとって絶好のチャンス

クールジャパン（CJ）を再起動する3つの手法を提示

CJ=日本の歴史、文化、伝統、自然、生活等を母体とした、世界から見た日本の魅力

サステナブルの視点からの日本の魅力の磨き上げ

- ・ 世界の潮流はサステナブル
- ・ CJはサステナブルと親和性が高い

（※おたがいさま、もったいない、三方よし）



サステナブルの視点から日本の魅力を再発見
⇒ 世界の人から**共感**が得られるストーリーへ

コミュニティとの共創による海外発信

CJには熱烈な外国人ファンが存在



ファン同士の**つながり**でコミュニティを形成
⇒ 体験・感動の共有がSNS等で**拡散**
⇒ 外国人を含む他のコミュニティとも「共創」

CJ関係者のマッチングの強化

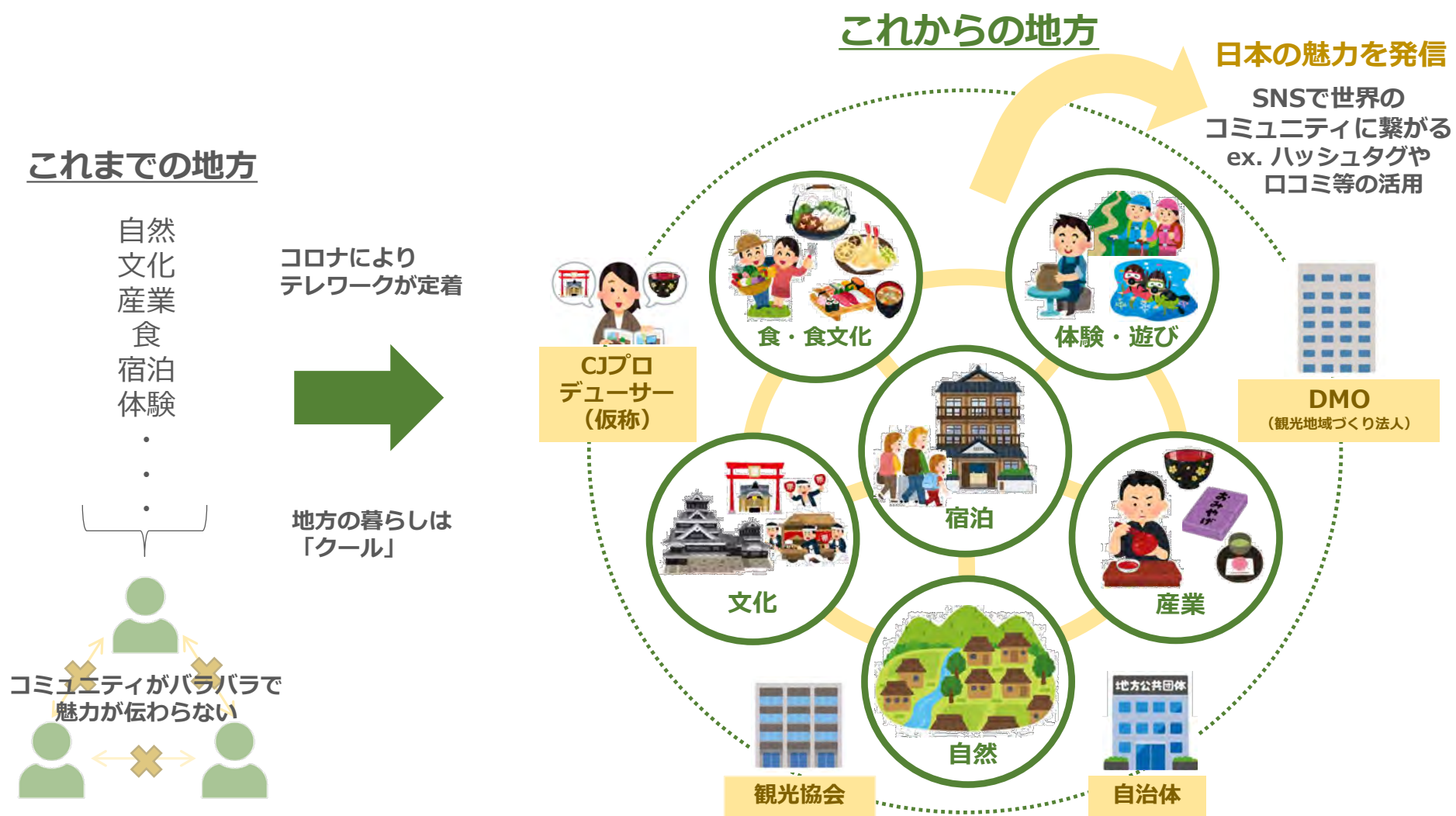
官民連携プラットフォームにおいてCJ関係者への支援強化

- ✓ 情報の相互発信・共有
- ✓ 「CJプロデューサー」の機能別再編成
- ✓ マッチングのためのオンラインイベント
- ✓ 日本を愛する外国人の積極活用

⇒ 官民連携プラットフォームを通じ、CJ関係者に働きかけを行う

「日本の魅力をサステナブルの視点から磨き上げ、コミュニティとの共創・関係者のマッチングにより、積極的に世界へ発信！」

デジタルを通じた地方のコミュニティ共創と世界への発信



①地方の担い手の一体化・総動員
 ②各コンテンツのファンコミュニティの共創 (コラボ)
 ③SNS等を通じた世界への発信による輪の広がり

デジタルの実装により繋がる
 ||
 「デジタル田園都市国家構想」の実現

世界の人々が憧れる destinations (旅行目的地) に

CJ官民連携PFの今後の取組について

クールジャパン官民連携プラットフォーム（平成27年設立）

2021年

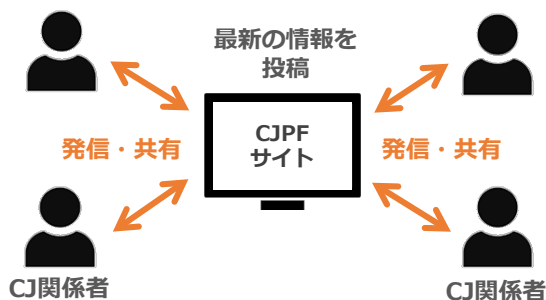
これまでの活動は、

- 事務局からの一方的な情報提供が多く情報量も限られていた
- 地域間や業種間等の横連携が弱かった

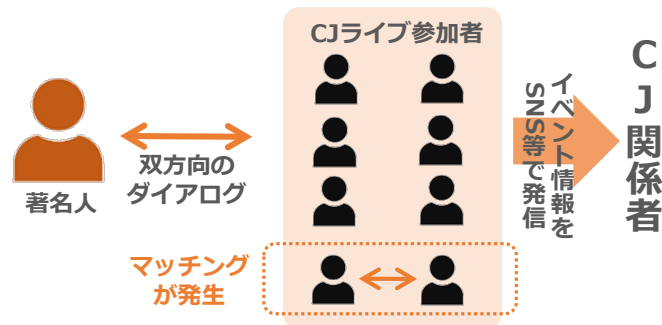
今後、以下の4点に注力してCJ官民連携PFを強化する

2022年

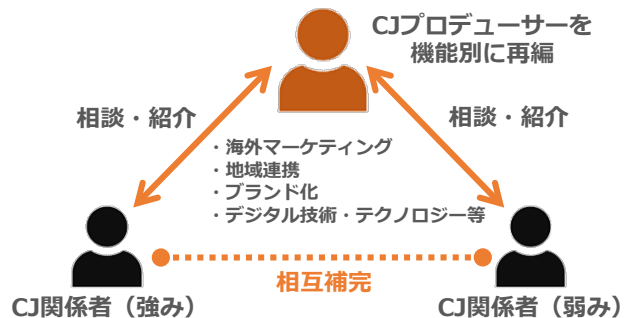
①情報の相互発信及び共有



③CJ関係者のマッチング支援（注）CJライブの開催



②CJ関係者の強みと弱みの相互補完



④日本を愛する外国人の積極活用

